



# 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 駒井 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年9月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	8,990	11.0	1,833	23.8	1,650	27.6	1,087	33.9
27年9月期第3四半期	8,098	8.2	1,480	14.6	1,293	18.0	811	21.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	113.31	110.78
27年9月期第3四半期	85.92	83.72

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年9月期第3四半期	25,025		10,218		40.4
27年9月期	23,476		9,416		39.7

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 10,122百万円 27年9月期 9,330百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	29.00	29.00
28年9月期	—	0.00	—		
28年9月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	18.4	2,410	18.3	2,140	19.8	1,390	22.8	144.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期3Q	10,065,800 株	27年9月期	9,997,000 株
----------	--------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年9月期3Q	415,028 株	27年9月期	415,028 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	9,596,951 株	27年9月期3Q	9,449,585 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 期末自己株式数には、従業員株式給付信託が保有する自社の株式250,000株を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)における我が国の経済は、新興国経済の減速に伴う影響などから輸出や生産面に鈍さがみられるものの、国内需要は設備投資が緩やかな増加基調にあるほか、一部に弱めの動きがみられる個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移し、全体として緩やかな回復基調が続いております。

当社の属する駐車場業界においては、慢性的な駐車場不足や都市部での建築に伴う駐車需要、建築による駐車場の減少を背景に売上について底堅く推移しました。

このような中で、当社は引き続き積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めるとともに、既存駐車場においても料金変更を機動的に行うなど採算性向上に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間においては191件2,821車室の新規開設、76件1,232車室の減少により115件1,589車室の純増となり、6月末現在、1,720件24,459車室が稼働しております。

以上の活動により、当第3四半期累計期間の売上高は8,990百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益1,833百万円(同23.8%増)、経常利益1,650百万円(同27.6%増)、四半期純利益1,087百万円(同33.9%増)を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下の通りであります。

(賃借駐車場)

当第3四半期累計期間においては、178件2,630車室の開設及び76件1,232車室の減少により102件1,398車室の純増となりました。その結果、6月末現在1,591件20,698車室が稼働しております。新規駐車場の開拓が順調に推移し、前期にオープンした駐車場を含む既存駐車場の売上が順調に推移したため、売上高は7,379百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

(保有駐車場)

当第3四半期累計期間においては、大阪市2件10車室、高知市2件26車室、横浜市1件4車室、熊谷市1件5車室、秋田市2件69車室、盛岡市1件17車室、水戸市1件5車室、千葉市1件21車室、長岡市1件17車室、小樽市1件16車室、合計13件190車室を新規開設いたしました。このほかレイアウト変更により青森市において1車室増加しました。その結果、6月末現在においては129件3,761車室が稼働しております。売上高は1,291百万円(同12.5%増)となりました。このほか、当第3四半期累計期間において、徳島市1件41車室分、高松市1件9車室分、大阪市1件3車室分、松戸市1件12車室分の駐車場用地を取得しており、当事業年度中のオープンを予定しております。

(その他売上)

当第3四半期累計期間においては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上、駐輪場売上、太陽光発電売上により、売上高は319百万円(同27.7%増)となりました。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

駐車場形態	前第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	前事業年度 (自平成26年10月1日 至平成27年9月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	6,699	7,379	9,081
保有駐車場	1,148	1,291	1,559
その他売上	250	319	355
合計	8,098	8,990	10,997

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は25,025百万円となり、前事業年度末に比べ1,548百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産土地の増加(1,238百万円)、現金及び預金の増加(13百万円)によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の部は14,807百万円となり、前事業年度末に比べ747百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加(585百万円)によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産の部は10,218百万円となり、前事業年度末に比べ801百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(802百万円)によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の39.7%から40.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済については、英国の欧州連合離脱に伴う世界経済への影響や為替市場の動向など金融市場に不安定な動きがあるものの、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直し、堅調な企業の投資マインドを背景に底堅く推移していくとみられております。

当社の属する駐車場業界におきましても、引き続き一定の解約はあるものの、依然として、時間貸駐車場の供給は足りず、需給バランスはタイトな状況が続いております。

このような状況のもと、新卒を中心とした営業人員の採用及び各拠点に適切な人員の配置を行うとともに、営業支援システムの機能向上、情報の蓄積と活用を図り、更に効率的な営業活動を行うことで、駐車場の新規開拓を推進してまいります。既存駐車場については当該システムを活用し、機動的に料金変更を行うなど収益性の向上を目指します。

また、保有駐車場用地については、地方の中核都市を中心に取得を目指します。これにより、保有駐車場と賃借駐車場の相乗効果で、駐車場の新規開拓を加速します。

今後につきましては、世界経済の下方リスクが指摘されるなど不透明さは増しているものの、保有駐車場の取得が順調に進んでいること、既存駐車場、当期オープン済みの新規駐車場の売上が堅調に推移することが見込まれております。

以上を踏まえ、当第3四半期までの実績値を考慮し、売上123億円、営業利益24.1億円、経常利益21.4億円、当期純利益13.9億円に通期の業績予想を上方修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

当該変更が財務諸表に与える影響は僅少であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,735	2,749
売掛金	93	122
前払費用	538	582
その他	82	83
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,449	3,537
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	796	769
機械及び装置（純額）	703	1,155
土地	15,809	17,048
リース資産（純額）	1,756	1,767
その他（純額）	617	401
有形固定資産合計	19,683	21,141
無形固定資産	30	27
投資その他の資産	312	317
固定資産合計	20,026	21,487
資産合計	23,476	25,025
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	158	156
1年内償還予定の社債	40	30
短期借入金	211	223
1年内返済予定の長期借入金	1,226	1,239
未払法人税等	295	320
賞与引当金	37	17
株主優待引当金	6	—
その他	718	764
流動負債合計	2,695	2,750
固定負債		
社債	250	230
長期借入金	9,200	9,785
リース債務	1,367	1,373
株式給付引当金	7	20
資産除去債務	163	183
その他	374	462
固定負債合計	11,364	12,056
負債合計	14,059	14,807

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,699	1,720
資本剰余金	2,034	2,055
利益剰余金	6,155	6,958
自己株式	△405	△405
株主資本合計	9,483	10,328
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	3
繰延ヘッジ損益	△163	△209
評価・換算差額等合計	△153	△206
新株予約権	86	95
純資産合計	9,416	10,218
負債純資産合計	23,476	25,025



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,098	8,990
売上原価	5,817	6,253
売上総利益	2,280	2,737
販売費及び一般管理費	799	904
営業利益	1,480	1,833
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	-	1
その他	0	0
営業外収益合計	1	2
営業外費用		
支払利息	184	181
その他	3	3
営業外費用合計	188	185
経常利益	1,293	1,650
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取和解金	-	1
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	9	13
特別損失合計	9	13
税引前四半期純利益	1,284	1,639
法人税等	473	552
四半期純利益	811	1,087

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。